技術者に必要なコミュニケーション

会場受講 / オンライン受講（Zoom） / 一般社団法人 中部産業連盟 中産連

# 若手技術者のための設計の不具合・後戻り防止の進め方

**とき** 2026年 11月 12日（木）（1日コース 10:00～17:00）

**ところ** 中産連ビル 研修室(名古屋市東区白壁3-12-13) または、オンライン(Zoom配信)

**ご参加いただきたい方**

- ☑ 技術力を高めたいと考えている若手技術者（2年目～10年目程度）
- ☑ 設計のポカミスを撲滅したいと考えている方
- ☑ 設計の不具合・後戻りを防止するミニDRについて学びたい方

## 本研修のねらい

設計不具合や手戻りは、設計意図の理解不足や確認・連携不足によって発生することが少なくありません。近年はCADや流用設計の活用が進む一方で、若手技術者が設計の本質を学ぶ機会が減り、レビューの形骸化やポカミスが現場課題となっています。

本研修では、担当業務に責任を持って品質を作り込む考え方を学び、実際の不具合事例を通じて未然防止のポイントを習得します。さらに、DR（デザインレビュー）や上司・関係部門とのコミュニケーションを強化し、図面完成度の向上と手戻り削減を実現する実践力を身につけます。

**本研修のポイント**

- ● 後戻りしない仕事の進め方がわかる
- ● 設計のポカミス事例から学ぶことができる
- ● 図案完成度を高める考え方がわかる

## 研修プログラム

**1.設計の基本を再確認**
（1）設計の自工程完結
（2）企業の社会的責任と設計の役割
①社会的責任
②お客様に喜んでいただける良い製品設計
③企業にとっての良い製品
（3）設計・図面とは
①設計とは
②図面が品質を決める
（4）設計者に求められること
①設計者の心構え
②設計者が順守するべきこと
③3現主義の徹底
④専門知識と業務知識を自分ものにする
【自己診断】
設計者として自己成長を実現する為に
出来ている点と不十分な点

**2.よくある設計ポカミス事例紹介**
（1）ハインリッヒの法則から見た再発防止の重要性
（2）よくある設計現場の実情
①図面品質は向上しているのか?
②OJTを受ける側の心得の会得は?
③効率を追求してもたらされたこと
④失敗経験をさせられない設計環境とは
（3）よくあるポカミス事例
①設計ステップ別、発生しやすいポカミス
②開発から生産・製造プロセス不備要因事例
③設計・生技・製造・原価要件破り
④織り込み必要な要件外し
⑤DR・検図不十分
⑥繰り返しNG
⑦マニュアル依存症
【ポカミスの傾向調査】
自身の設計部・自分を見つめ直してみる

**3.図面完成度向上活動～手戻りゼロを目指して**
（1）開発から製造・生産プロセスの順守
（2）設計開発前の準備
（3）構造設計から詳細設計の留意点
（4）図面DR／図面検証での留意点
（5）図面完成度向上活動
【不具合改善整理】
自分自身が取り組むことと職場への提案のまとめ

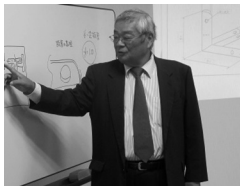
# 若手技術者のための設計の不具合・後戻り防止の進め方

## 若手技術者のレベルを向上し「設計不具合・設計後戻り」を防ぐことはとても重要です。

- ☑ 設計レビュー（DR）を実施しているものの、不具合の流出や見逃しがなくならない
- ☑ CADは使いこなせても、設計の考え方や判断力に課題があり、若手技術者の育成に悩んでいる
- ☑ 設計変更や手戻りの発生により、開発日程の遅延やコスト増加が生じている
- ☑ 設計・生産技術・製造など関係部門との連携不足により、後工程で問題が発覚している
- ☑ 過去の不具合や失敗事例が十分に活かされず、同じ設計ミスを繰り返してしまう

① 設計不具合・手戻りの未然防止のポイント
② 図面完成度を高めるDRとセルフチェック
③ 設計品質を高めるコミュニケーションの実践法

講師



### 中産連 委嘱コンサルタント　土方 貞夫 氏

1968年に現在のトヨタ紡織株式会社に入社。生産技術部、設計部にてシートやドアトリム設計開発に携わる。部長として工法開発や工程計画、生産準備に取組むとともに原価低減活動で実績をあげた。その後、TQM推進室を経て協力会社にてグループ企業の人材育成を行った。

## 【2026年度】若手技術者のための設計の不具合・後戻り防止の進め方（11／12）参加要項／参加申込書 ※必要事項をご記入のうえ、切らずにこのままFAXをお送り下さい。

| | |
|---|---|
| 参加費（１名様） | ［中 産 連 会 員］36，300円（消費税込）　［中産連会員外］41，800円（消費税込） |
| 申込方法 | ●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。（https://www.chusanren.or.jp）<br>申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。<br>●ファックスでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。<br>※オンライン受講の場合は参加者のメールアドレスが必要です。必ず参加者のメールアドレスをご記入ください。<br>※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。 |
| 受講までの流れ | **<会場受講の場合>**<br>受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。<br>**<オンライン受講の場合>**<br>①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスコード」をメールにてご案内します。<br>②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。<br>【オンライン受講の注意事項】<br>·配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。<br>·接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声·映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。<br>·IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外の使用はお断りします。<br>·研修の撮影·録音は固くお断りします。 |
| キャンセルについて | お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。<br>·会場受講の場合 ：開催日の前日（土日祝日を除く）·当日·····受講料の100%<br>·オンライン受講の場合 ：テキスト発送後（開催日の約１週間前）·····受講料の100%<br>※テキスト発送日はセミナーにより異りますので下記担当者へご確認ください。<br>営業日の17:30以降のご連絡は、翌営業日の取り扱いとさせていただきます。 |
| 申込み・問合せ先 | 一般社団法人中部産業連盟　マネジメント研修事業部　大土井<br>〒461-8580　名古屋市東区白壁3－12－13　TEL052-931-9826　FAX0120-342-340　e-mail：seminar@chusanren.or.jp |

年　月　日

会社名

〒

所在地　　TEL　　FAX

※オンライン受講を希望される場合は○を付けてください。

| オンライン受講 | 参加者　所属部課·役職名 | 参加者氏名（フリガナ） | E-mailアドレス |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| 申込責任者　所属部課·役職名 | 申込責任者氏名（フリガナ） | E-mailアドレス |
|---|---|---|
| | | |

| 会社概要 | 業種（主要製品名） | 資本金 | 従業員数 |
|---|---|---|---|
| | | 百万円 | 人 |

| 中部産業連盟会員（○印をお付けください） | 会員　·　会員外 |
|---|---|

今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営·情報提供（郵便、メール、FAX等）においてのみ使用致します。
詳細は当連盟HP（http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html）をご覧下さい。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にレ点のご記入をお願い致します。　□　セミナーなどの関連情報の案内を希望しない

一般社団法人 中部産業連盟 中産連

FAX 0120-342-340　マネジメント研修事業部　大土井 行